



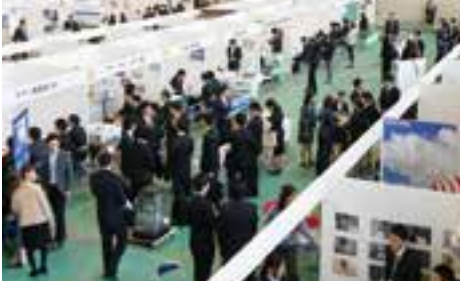
保護者の皆さまへ

鹿大だより

第24号

編集・発行 / 国立大学法人 鹿児島大学広報センター
〒890-8580 鹿児島市郡元1丁目21番24号 TEL099-285-7035 FAX099-285-3854 E-mail: sbunsho@kuas.kagoshima-u.ac.jp

農学部生による田植え実習(2019年7月)



学部(研究科)・学年不問の学内業界研究フェア(2019年2月開催)

鹿大の就活最前線

採用活動の早期化や通年採用の拡大など、就職活動を取り巻く環境には大きな変化が見られます。最近の就職・採用活動の傾向や本学の就職支援について、就職支援センターの下田 智子室長にお話を伺いました。

採用活動はますます早期化
プレ期の準備がいつそう
重要に

現在のルール(注)によるスケジュールでは、3月1日から求人情報の公開や企業説明会等の広報活動が解禁され、6月1日から面接等の選考が開始となりますが、今年は3月上旬から面接を始める企業が増加し、内々定の時期も4月下旬がピークとなっています。3月1日からの企業へのエントリー開始から直ぐに筆記試験や面接が始まるため、2月までのプレ期の準備が一層重要で、事前に業界・企業研究をしっかりと行いつつ、自分の適性も見極めておく必要があります。

本学でも参加者が年々増えているインターンシップは、自身の適性を知るための良い機会でもありますが、ただ参加するだけでは意味がありません。目的意識を持って参加し、終了後は振り返りを行って、自分に不足していた点があれば、それを伸ばすための努力が大切です。最

近は1日開催のプログラムも多
いですが、志望度の高い企業や
業種ならぜひ5日間以上のプロ
グラムに参加し、業務内容を理
解するとともに、社風が自分に
マッチしているか確認すること
をお勧めします。

なお、現3年生の採用活動は
更に早期化し、インターンシッ
プやプレ期のイベントで接触の
あった学生に早期選考を行う企
業が増加すると予想されます。
また、現2年生からは通年採用
も拡大される見込みです。新卒
一括採用がなくなる訳ではあり
ませんが、既卒未経験者の採用
や秋入社、専門的な能力を持っ
た人材の採用など、時期や方法
の多様化が進むと思われるので
、長期留学を考えている、あ
るいはボランティア活動や
NPO活動、部活動等に力を入
れたい学生にとっては追い風か
もしれません。

本学の就職支援について
就職支援センターや各学
部主催のガイダンス、イベ
ント等の活用を

就職支援センターでは、就職
活動をスタートさせる学部3年
生(院1年生)を対象に、年間
を通して様々な就職支援を行っ
ています。年7回の就職ガイダ
ンスや少人数・予約制の就職支
援講座に加え、業界・職種セミ
ナー、合同・個別の企業セミ
ナー・説明会(2018年度は
約500社参加)等も実施して

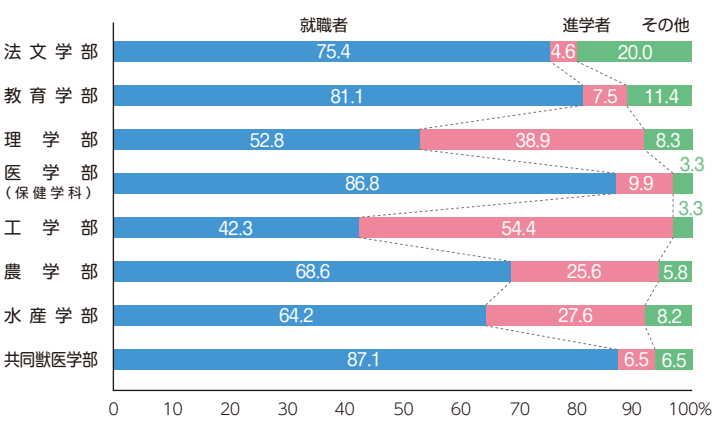
います。低学年の学生が参加で
きるイベントもあり、多くの学
生の参加を期待しています(対
象学年別の詳細スケジュールは
2面に掲載)。

全学的なキャリア支援として
は、1・2年生向けに開講して
いる「キャリアデザイン(共通
教育科目)」等もあります。
「キャリアデザイン」は多彩な
ゲストスピーカーによる講話も
あり、多様な価値観に触れ、視
野を広げつつ早期からキャリア
意識を高めることを目的の一
つとしています。低学年時から卒
業後のビジョンを描き、目標を
もって大学生活を過ごしてもら
えたらと考えています。そのほ
か、各学部主催のガイダンスや
説明会もありますので、詳細は
学部の就職担当窓口にお尋ねく
ださい。

本学の就職支援について
就職支援センターや各学
部主催のガイダンス、イベ
ント等の活用を

就職支援センターでは、就職
活動をスタートさせる学部3年
生(院1年生)を対象に、年間
を通して様々な就職支援を行っ
ています。年7回の就職ガイダ
ンスや少人数・予約制の就職支
援講座に加え、業界・職種セミ
ナー、合同・個別の企業セミ
ナー・説明会(2018年度は
約500社参加)等も実施して

平成30年度学部卒業者の就職・進路状況



平成30年度学部卒業者の学部別・産業分類別就職状況(単位:人)

	法文学部	教育学部	理学部	医学部(保健学科)	工学部	農学部	水産学部	共同獣医学部	合計
建設・製造	18	8	2	-	90	35	19	2	174
情報通信	29	3	18	-	35	9	2	-	96
卸売・小売	39	21	6	-	3	20	31	1	121
金融・保険	31	7	10	-	-	4	4	3	59
医療・福祉	11	5	1	94	2	2	1	-	116
教育・学習	6	13	4	-	2	3	-	1	29
サービス	31	10	26	1	30	13	9	13	133
公務員	95	29	12	10	18	34	7	7	212
教員	8	122	12	-	-	5	5	-	152
上記以外の業種	44	9	4	-	9	17	8	-	91
合計	312	227	95	105	189	142	86	27	1,183

全学的なキャリア支援として
は、1・2年生向けに開講して
いる「キャリアデザイン(共通
教育科目)」等もあります。
「キャリアデザイン」は多彩な
ゲストスピーカーによる講話も
あり、多様な価値観に触れ、視
野を広げつつ早期からキャリア
意識を高めることを目的の一
つとしています。低学年時から卒
業後のビジョンを描き、目標を
もって大学生活を過ごしてもら
えたらと考えています。そのほ
か、各学部主催のガイダンスや
説明会もありますので、詳細は
学部の就職担当窓口にお尋ねく
ださい。

なお、10月以降も、地元の優
良企業や公的な団体を中心に、
鹿大生を積極的に採用したいと
いう企業、団体からの求人が多
数届きます。来春卒業予定で就
職活動を継続している場合は、
就職支援センターや各学部の求
人情報にも目を向けていただき
たいと思います。就職支援セン
ターに求職登録すると(セン
ターのHP上でWEB登録も可
能です)、希望に近い求人情報
がメールで届きますので、是非
登録を勧めたいです。是非
よろしくお願いいたします。



就職支援センターには、求人検索ができるパソコンや就活に役立つ書籍、DVD等を備えています

◎内定者インタビュー

内野 真湖さん 教育学部 学校教育教員養成課程4年

●株式会社現場サポート(鹿児島市)内定

【就職活動DATA】志望業界/主にIT ES提出/5社
インターンシップ/6社(IT、銀行、医療等)
内定/1社 就活費用/2~3万円(衣服代)



3年生の秋頃に大学で開催された「中小企業の魅力発見講座」に参加し、就活をスタートさせました。教育学部に進んだ私には教員を目指すという選択ももちろんありましたが、改めて進路を考えた際、一度は学校から出てみるのも良いのではないかと感じました。そこで、まずは情報収集から始めました。

教員志望者のためのセミナーや説明会の情報、教員募集の案内は学部からもメール等で多々受け取っていましたが、一般企業の求人情報は他学部比べて少なかったです。ですから私は、大学で開催される企業説明会等にはすべて足を運び、ITや金融、建築など、興味のある業界のブースで、企業の方と直接話をすることに重きを置いて活動しました。また現場を体験したいという思いから、インターンシップにも6社参加しました。自分の目で企業の姿を見ることができたのは進路選択の上でとても参考になりました。なお、そのうちの一つが内定先企業となりました。

就活を通して感じたことは、何も、特別に自慢できるような体験談はなくても良いことです。これから就活を始める皆さんは、ESに何を書けば良いのか困ることがあるかもしれませんが、普段の学生生活や部活で取り組んだ内容を自分の言葉でしっかりとめ、面接でも話することができれば良いのではないかと思います。

◎内定者インタビュー

瀬戸川 優也さん 理工学研究科 生命化学専攻2年

●NTT東日本(本社/東京都)内定

【就職活動DATA】志望業界/食品・IT ES提出/15~20社
インターンシップ/2社(食品メーカー、情報)
内定/2社 就活費用/25~30万円



もっと研究に触れたいという思いから院に進み、生命化学専攻で学びました。研究は楽しいものですが、一方で、将来は、人々の生活の不便さを少しでも解消するような仕事をしたという思いもありました。元々人と話をしたり、人の役に立つのが好きです。そこで、生活に密接に関わる分野で自分の学びを生かしたく、就活を始めました。

就活中は大学の施設をよく利用しました。東京の海音寺潮五郎記念東京学生宿泊施設には1週間ほど滞在し、近隣で開催される企業説明会等に集中参加。安く宿泊でき、助かりました。就職支援センターではジョブサポーターの方に相談に乗ってもらったり、ESを添削してもらいました。院生だからといって、学部生と就活の仕方が変わるわけではありませんが、就職情報サイト経由で研究職にエントリーする際、研究内容を書く必要がある分、ESの項目が多いようには感じました。研究を企業でどう活かすのか、という設問もありました。また、研究内容と少しでも異なる分野の業種だと、面接でそのことについて尋ねられるので、「研究に携わった結果、人の役に立つことが好きだと改めて分かった」と自分の気持ちを明確に伝えるようにしました。

長い時間研究に触れたことで、色々なことを深く考え、試行を繰り返したという経験が多くあります。それがアピール材料になったと思います。また、就活では他者との関わり方も重視されます。アルバイトやサークル等何でも良いので、他者との関係の中で、どのような考えのもと、どのような行動を取り、その結果どうなったのかという体験をしっかり話せると良いと思います。

*ES…エントリーシート

2019年度の全学キャリア・就職支援スケジュール

	1・2年次	3年次(院1年次)	
4月	○前期 「キャリアデザイン」	○第1回就職ガイダンス (就活スタートアップ~どうなる? 2021年卒の就職活動)	
5月		○第2回就職ガイダンス (インターンシップ選考対策)	
6月	○インターンシップ学内 合同企業説明会	○インターンシップ学内合同企業 説明会 ○「就職支援ガイドブック」配布	
7月		○第3回就職ガイダンス (業界・企業研究)	
8月		○就活マナー実践講座	
9月		○内定者との懇談会	
10月	○後期 「キャリアデザイン」	○第4回就職ガイダンス (公務員希望者対象)	業界・職種研究セミナー(随時)
11月	○中小企業の魅力発見 講座	○中小企業の魅力発見講座	
12月		○第5回就職ガイダンス (エントリーシート対策) ○第6回就職ガイダンス (面接対策&就活ストレス対処法)	
1月	○1・2年生対象進路 ガイダンス	○第7回就職ガイダンス (直前対策~2月からの攻め方)	
2月	○学内業界研究フェア (ブース形式)	○学内業界研究フェア(ブース形式) ○グループディスカッション実践 ○模擬面接	
3月		○個別企業セミナーフェア (講義形式)	
4月		○公務員採用試験説明会	学内個別企業説明会(随時)
5月		○教員採用試験説明会	
6月		○就活見直し講座 ○県内企業による学内合同企業 説明会(ブース形式) ○公務員・教員希望者向け集団討 論対策	
10月	内定式		

4年次
(院2年次)

※4月以降のスケジュールは予定。
※上記の他にも、年間2・3回の卒業生による就職支援セミナー(全学生対象)や各学部主催の就職ガイダンス、説明会等(詳細は各学部の就職担当窓口まで)があります。

就活あれこれ Q&A

Q インターンシップやボランティア、サークル活動の経験がないと就活では不利になるのでしょうか？(過去の保護者アンケートより)

A 不利になるということはありません。学生時代に何をしたかは問題ではなく、学業でも課外活動でも、学生時代に打ち込んだものがあり、その経験を通して自分がどう成長し、何を得たのか、自分の言葉できちんと語れるかどうかが問われます。例えばインターンシップはその材料の一つにはなりますが、学業やボランティア、部活動等、他に力を入れていることがあるのなら、それらを犠牲にしてまでインターンシップに参加する必要はないと考えます。ただし、その場合でも、社会人との交流の機会をなるべく多く持つようにするのが望ましいですね。学外の様々な年代・職業の方と接することで、様々な気づきが得られ、自己成長につながるのではないのでしょうか。

Q 就職活動やインターンシップ、実習等で利用できる県外の施設について教えてください。

A 以下の2つが利用できます。

1. 鹿児島大学セカンドキャンパス(東京サテライト[新宿]、福岡サテライト[天神])
パソコン、コピー機、プリンター、更衣室を備えており、就職活動やインターンシップ等の際に、書類準備や情報収集、休憩、着替え、荷物の預かり等が事前予約不要・学年不問で利用できます。
2. 海音寺潮五郎記念東京学生宿泊施設
鹿児島県出身の歴史小説家、海音寺潮五郎氏のご遺族から寄贈を受けた記念館を、教育・研究活動拠点として改修・整備したものです。小田急線経堂駅から徒歩5分、利用料は無料(シーツ等のクリーニング代のみ実費負担)。利用の際は1週間前までに就職支援センターにて申込みが必要です。



サテライト
<https://www.kagoshima-u.ac.jp/job/post-7.html>
 海音寺潮五郎記念東京学生宿泊施設
<https://www.kagoshima-u.ac.jp/education/post-25.html>

インターンシップ体験談

早期のインターンシップ経験が自信に。



窪田 瑛水さん
農学部農業生産科学科 3年

・就業先：グリーンファーム(鹿児島市観光農業公園)
 ・期間：10日間
 ★自治体や地元企業と連携したカリキュラムを提供する「かごしまキャリア教育プログラム」で参加

1年生のとき、プレ地域キャリア・インターンシップに参加しました。グリーンファームは、農産物直売店や体験用農地、キャンプ場等がある施設で、一般のお客様を対象とした野菜の収穫体験や料理教室を実施しています。私は調理班に配属され、職員のサポートや農作業の補助をしました。

元々消極的な性格で、始めのうちは周りの方々と積極的に話せませんでした。そんな中、料理教室のレシピ考案という企画書作りに取り組みました。料理が好きだったこともあり、お客様がより楽しんで、なおかつ作りやすいレシピにするためには、どういう材料を用い、どう調理すれば良いかを考え、工夫してまとめていくという作業はとても楽しかったです。これまでインプットしてきた知識が、アウトプットによって形になるという貴重な経験ができ、とても勉強になりました。また私は、何かをより良くするため、想像力を駆使してアレンジするという作業が好きだということにも気付きました。

職員の方からは「気配り上手」とか「周りをよく見ている」といった評価を頂きました。それが私の強みなのかなと思い、嬉しかったです。他人に自分を客観的に評価してもらえる機会はそれまであまりなかったので、自信に繋がりましたね。インターンシップを終える頃には、いつの間にか人前で話すことも苦ではなくなり、周りから「前向きになったね」と言われました。自分の足りない部分だけでなく長所に気付けるのもインターンシップの良さです。早期に体験することで、その後の意識や大学での過ごし方が変わったので、参加して本当に良かったと思っています。

◎先生インタビュー

TEACHER'S INTERVIEW

磁場で新しい物質を作り出す

大学院理工学研究科(理学系) 准教授 三井 好古



東北大学大学院工学研究科修士(工学)。2014年4月着任。専門は強磁場材料学

ある元素と元素の反応に磁場を印加することで、新しい物質を作り出すという、磁場を利用した物質合成の研究をしています。通常、物質を合成する際は原料を溶かしたり、化学反応を利用したりしますが、そこに磁場を利用することで合成が促進したり、合成に際し結晶を揃えたりすることができるようになります。これまではマンガンとアルミニウムから構成される永久磁石になる物質への合成を、磁場を用いることで促進させることに成功しました。「永久磁石」とは、ハードディスクやハイブリッドカーのモーター部分に使用されている材料です。

このように、私の研究分野が世の中の

よりよい未来のために「振り返り」のすすめ

高等教育研究開発センター 助教 森 裕生



早稲田大学大学院人間科学研究科修士(博士(人間科学))。2017年10月着任。専門は教育工学

みなさんは「振り返り」という言葉を知っていますか？「振り返り」とは1つの研究分野として様々な研究が行われています。「振り返り」の学術的定義はよくわかりませんが、ここでは、①何かに失敗したとき、その原因を精査し、次に上手くいくにはどうすれば良いかを考えること、②上手くいったことについて、どのようにして成功することができたのか、次により良くするためにどうしたら良いかを考えることだと思っています。私は大学生の学習を対象に振り返りの研究に取り組んでいます。しかし「振り返り」は学習の場だけでなく、部活動や委員会、友人・家族の関係をより良くしたりするためにも重要な活動です。すなわち、人がよりよく生き、よりよい未来を作るために必要な活動であると考えています。

私は大学院生のとき、複数の大学の学生が受講する大学連携授業に学生のサポート担当として参加しました。サポートだけでなく、所属の異なる学生の交流を深めるためにワークショップ形式の授業の企画なども行いました。その数年後、ある学生が卒業する際に「サポートがとってもありがたかった。授業を受けて視野が広がった。」とメッセージをくれました。授業を振り返りながら学んでくれた学生に出会えたことで、大学授業の可能性を感じました。この経験が、私が大学教員を志すきっかけでした。

今でも、私の授業を受けた学生が授業を振り返り、将来、関連する授業や活動に参加したときに何かを思い出して、新たな考えを持って知識を得たりしてくれることを意識しながら授業をデザインしています。大学での授業すべてに意義を見出すのは、今はまだ難しいかもしれませんが、しかし、目の前の物事が「自分にとって価値がある(ない)」とは判断できないはず。今の自分に必要だと思っても、未来の自分には必要ありません。みなさんは、将来を見据えて、いま行っていることを丁寧に振り返り、長い目で物事を見てほしいと思っています。

クローズアップ!

鹿大生

「鹿児島大学進取の精神チャレンジプログラム」採択団体による活動がスタート

本学では、学生自らが企画・運営・実施する様々な活動を支援することによって、本学における進取の精神を継承・発展することを目的とし、「鹿児島大学進取の精神チャレンジプログラム」を実施しています。今年度採択された10プログラムのうち、2プログラムをピックアップ! 活動の様子をお届けします。

「検査実施時の子どもの鎮静」という、小児医療の課題の一つを知ったこと。子どもが検査を嫌がって泣いたり暴れたりすれば、当然大人は抑えつづけますし、やむを得ず鎮静剤を使用する場合もあります。これでは子どもが病院に対してネガティブな感情を抱いてしまっただけですし、また、鎮静剤には呼吸停止や心停止等のリスクも伴い、危険です。これを対話のみで改善できたらという思いから、取り組みを始めました。

二二回は「プレレシジョン」活動です。これは検査・治療等を控えた子どもに対する事前説明や配慮のことで、実際の医療現場で行われています。私たちはこれに学生の立場で取り組んでいます。きっかけは、「検査実施時の子どもの鎮静」という、小児医療の課題の一つを知ったこと。子どもが検査を嫌がって泣いたり暴れたりすれば、当然大人は抑えつづけますし、やむを得ず鎮静剤を使用する場合もあります。これでは子どもが病院に対してネガティブな感情を抱いてしまっただけですし、また、鎮静剤には呼吸停止や心停止等のリスクも伴い、危険です。これを対話のみで改善できたらという思いから、取り組みを始めました。

世界137の国と地域が加盟し、130万人以上の医学生が参加する(※)国際NGO「国際医学生連盟(IFMSA)」そのIFMSAの日本支部である「日本医学生連盟(IFMSA-JAPAN)」の鹿児島支部として活動しているのが、私たち医学部生で結成した「ぬいぐるみ病院サークル」です。2017年に活動開始、2018年に公認サークルとなりました。サークルはこの活動を柱としています。一つ目は「ぬいぐるみ病院プロジェクト」活動です。これはIFMSA-JAPANの活動の一つで、子どもたちの病院嫌いをなくすことをモットーに、ぬいぐるみを用いた模擬診察や保健教育を行うものです。多くの子どもたちにとって検査・治療等の医療行為は怖いものであり、時にトラウマすら植えつけられることもあるため、模擬診察等により子どもたちの医療行為に対する恐怖心を和らげることが目指します。私たちは2~3ヶ月に一度、鹿児島市内の保育園に赴き、子どもたちと模擬診察をしています。子どもには医者にならなくてもいい、患者に見立てたぬいぐるみ「診察いこ」を行いながら、診療の流れや医師の仕事について理解してもらいます。

【一般部門】ぬいぐるみ病院サークル ぬいぐるみで子どもたちを笑顔に! 鹿大流「ぬいぐるみ病院プロジェクト」

話をしてくれたメンバー



代表 渡 耕大さん 医学部医学科3年
安田 幸志郎さん 医学部医学科3年
水流 かなこさん 医学部保健学科3年



保育園での模擬診察の様子(2019年5月)

(※)加盟国・人数等のデータは2018年6月時点のもの。

私も落ち着いて検査を受ける子どもたちの様子が見受けられ、ほっとしました。また、保護者の方からも、このような取り組みが必要であるとの意見をいただきました。しかしながら、様々な年齢・発育状況の異なる子どもを相手とするこの難しさも痛感しました。今後活動は継続する予定なので、アンケート等からデータを集め、より良い実施ができるよう研究していきたいと思っています。

私たちの目標の一つは、この活動を通じて社会に少しでも貢献することです。子どもたちの健康は社会にとって必要なことですし、私たちにとっても、この経験が将来医療従事者となるときに役立つと思っています。

2017年、鹿児島市内の病院から依頼を受け、打ち合わせや現場の見学を始めました。この病院ではかつて看護師がプレレシジョンを行っていました。とはいえず、大前例がなく、なおかつ入院中の子どもを相手にするため、入念な準備が必要でした。そして今年5月、初めて実施しました。検査の前日、子どもと絵本を読んだり、一緒に遊んだりして親睦を深め、プレレシジョンを行いました。内容には工夫をこらしました。例えば、採血を行う子どもには、ゴムチューブで腕を縛り圧迫する代わりに細長い風船を代用し「明日はこんなふうな腕に巻くんだよ。怖くないからね」と優しく説明しました。プレレシジョンの甲斐あってか、検査当日は普段よりも落ち着いて検査を受ける子どもたちの様子が見受けられ、ほっとしました。また、保護者の方からも、このような取り組みが必要であるとの意見をいただきました。しかしながら、様々な年齢・発育状況の異なる子どもを相手とするこの難しさも痛感しました。今後活動は継続する予定なので、アンケート等からデータを集め、より良い実施ができるよう研究していきたいと思っています。

「わくわく!夢発見プログラム」

「わくわく!夢発見プログラム」(全4回)です。対象は小学4~6年生で、錦江町まち・ひと・「MIRAI」創生協議会事務局にも協力をいただきました。プログラムの実施に先駆けて、8月には子どもたちを対象とした

「わくわく!夢発見プログラム」にて(2019年8月)



参加した小学生の皆さんと



商店街での謎解きイベント。店舗の皆様にご協力いただきました。

今回錦江町に注目したきっかけは、メンバーの井上 聡佑郎が錦江町で地域おこし協力隊として活動していたからです。彼は社会課題の解決を目的として、空き家を活用したゲストハウスを立ち上げるべく、2019年4月に移住。その生活の中で、子どもたちと関わりたい、また子どもたちには自分の将来にわくわくしてほしいという思いが芽生えました。そこで子どもたちに夢を持ってもらう第1歩となるよう考案した企画が、9月から10月にかけて実施した、鹿大生と子どもたちの交流事業

「わくわく!夢発見プログラム」(全4回)です。対象は小学4~6年生で、錦江町まち・ひと・「MIRAI」創生協議会事務局にも協力をいただきました。プログラムの実施に先駆けて、8月には子どもたちを対象とした

【地方創生活動部門】KG base(錦江町学生基地)

夢であふれる町をつくりたい!
地域×学生で課題を解決する
「錦江町子ども未来作りプロジェクト」



代表 渡辺 貴大さん 水産学部水産学科4年
井上 聡佑郎さん 工学部機械工学科4年

事前説明会を開催。この説明会の目的は、プログラムの意図や関わる学生を保護者の方に知っていただくことでした。9月初旬には、錦江町校長研修会の場をお借りし、事業について説明しました。先述した協議会事務局と協働したことで、このように地元小学校や地域コミュニティと連携を図ることができました。これらの成果として、定員10名のところ、ちょうど10名の子どもたちが応募してくれました。

「わくわく!夢発見プログラム」(全4回)です。対象は小学4~6年生で、錦江町まち・ひと・「MIRAI」創生協議会事務局にも協力をいただきました。プログラムの実施に先駆けて、8月には子どもたちを対象とした

この「錦江町子ども未来作りプロジェクト」を立ち上げました。地域に愛着を持つとともに、将来の夢を描け、さらにそれを実現できる能力を持った次世代の担い手を育成することを目指し、子どもたちを対象としたワークショップや交流会、イベント等を企画実施していくことが主な活動内容です。

ロボット研究会

最高のロボット製作を目指して

ウィンドサーフィン部

風に乗って海を疾走!

毎週土曜、鹿児島市の磯海水浴場で全体練習を行っている。1年生は上級生から基本的な技術を学び、上級生は沖で漕ぎやレース形式の練習を行う。風を動力源に時速40km程が出せるが、水面を滑るように走るため、体感速度は2倍にも3倍にも感じるといふ。時にはイカと並走できることもあるそうだ。

大学生から始めることが多いスポーツであるため、練習次第では大会で上位も狙える。大会は年間を通じて多数開催さ



九州選手権にて(大分県・2019年6月)

れており、今年はすでに3つの大会に出場した。11月には冬季九州選手権に出場予定だ。一方、「錦江湾カップ」を開催するなど、主催者としても積極的に活動している。

創部は1978年。20年程前は全国大会でも上位に入賞し、強豪校として名を馳せていた。「今はその頃の実績に追いつけるよう、まずは九州圏内の大会で成績を残したい」と部員の鉄 昌樹さんは語る。夢はインカレ個人戦出場。晴れ渡る空の下、これから海を疾走し続ける。



磯海水浴場での全体練習の一幕(2019年7月)

Clubs

サークル紹介

ロボットコンテスト通称「ロボコン」に向け、男子32名、女子4名で日々ロボット製作に励むロボット研究会。部員は設計班・回路班・制御班に分かれ、設計から加工、回路製作、プログラミング等すべての工程を手掛ける。それらが一通りできるようになる者もいれば、一分野を極める者もいる。

製作の期間外は、パソコンを自作したりプログラミングコンテストに参加する等、それぞれが技術向上に努めている。多くの部員は初心者だったが、先輩部員



3次元CADを使って設計中

や大学技術職員の熱心な指導により、皆、高い技術を身につけているという。また、大崎町でプログラミング講座を手伝ったり、イベントではロボット操縦の体験ブースを設け、子どもたちと交流するなど、学外での活動にも力を入れている。

目標はNHK学生ロボコン出場、そして上位進出。「ものづくりに興味のある方、一緒にロボットを創りませんか?」と部長の酒井 義史さん。部員は随時募集中なので、興味のある方は研究会のHPを覗いてみては。



男子も女子も楽しく活動中

鹿大の 主な出来事

2019年4月
~2019年9月



EVENTS IN KAGOSHIMA UNIVERSITY
詳細は、大学HPをご参照ください。
<https://www.kagoshima-u.ac.jp>

●教育学部・教育学研究科の学生が各賞を受賞

第47回鹿児島陶芸展(鹿児島県および南日本新聞社主催)で、創作部門の「南日本新聞社賞」を教育学部美術専修4年の藤田菜々恵さんが受賞しました。最高賞の「鹿児島県知事賞」は同専修卒業生の山元昌俊さんが受賞しました。

また、第66回県美展(鹿児島県美術協会)が主催で、教育学研究科2年の堀之内聖さんの作品「じまの向こうへ」が、公募の部の最高賞である県美展賞を受賞しました。

●「麓(ふもと)」の魅力を発信！ 学生が麓街歩きマップ第2弾を制作

工学部の釜坂徹教授(建築学専攻)の研究室に所属する学生らが「麓街歩きマップ」第2弾を制作しました。麓とは近世の薩摩藩が統治した伝統的な集落のことで、2019年には鹿児島県として初となる日本遺産に認定されるなど注目を集めています。マップでは出水麓、知覧麓、入来麓など国の重要伝統的建造物群保存地区に指定されている麓の他、加世田麓、喜入麓など14ヶ所を取り上げており、学生が執筆した文章や、撮影した写真・キャプションを、釜坂教授と同研究室の増留麻紀子助教が監修しました。麓の特徴や歴史を分かりやすく解説した、見応えのある内容となっています。

工学部建築学科では、長年、教員や学生らが麓の調査を行ってきたおり、この街歩きマップもそれらの研究を受け継いでできたものです。マップは建築学科のHPで見ることが出来ます。

●共同獣医学部が獣医学教育評価において「基準に適合している」と認定

共同獣医学部は、公益財団法人大学基準協会の「獣医学教育評価」において「基準に適合している」と認定されました。この評価は、大学基準協会が、獣医学教育士課程の水準の向上をはかることも、評価を通じて、獣医学教育士課程の質を社会に対して広く保証することを目的として判定するもの。全国獣医学系国立大学10校のうち8校が2校ずつの共同獣医学課程を組む中、最初の認定取得となりました。今後さらなる改善に努め、国際水準の獣医学教育を目指していきます。

●日本初記録となる大型アジ科魚類を大学院生が発見。「ヨコヅナマルコバン」と命名

総合研究博物館が行っている鹿児島県の魚類相調査の過程で、南さつま市笠沙町で発見された全長1mほどの大型アジが、国内初確認となる「トラキノータス・アナコ」だったことが分かり、調査にあたった連合農学研究所2年の和田英敏さんが標準和名「ヨコヅナマルコバン」と命名しました。

2018年、地元の漁師が研究室に持ち込み、和田さんが調査を開始。当初は、同様の希少種である「コガネマルコバン」と見られていましたが、頭部の骨の形が異なること、舌に歯を持たないことなどの特徴からこの魚類の正体を突き止めました。名前の由来は、その巨体と発達した背部の筋肉が横綱を連想させることから。2019年7月、日本魚類学会の刊行する魚類学雑誌で発表しました。

◎留学だより

水産学部水産学科4年 岡本 情さん
トビタテ!留学JAPAN/フィリピン、マレーシア、イギリス、オーストラリア(2018年4月~2019年3月)



高校生の頃から海外への憧れがあり、大学生になったら絶対に留学しようと決めていました。3年生のとき、給付金型の留学制度「トビタテ!留学JAPAN」を知り、応募することに。この制度は目的や行き先を自分で計画するのが特徴です。私は大学で魚類分類学研究室に所属しているの、留学の目的はその研究のためと決めました。行き先については、研究室の本村先生に海外の研究機関を紹介してもらいました。研究をしながら英語も学べれば思ったのです。結果、各国の大学や博物館の研究室に所属しながら、魚類の調査・研究を行うこととなりました。

最初に訪れたフィリピンでは、主に市場調査を行いました。ぎゅうぎゅう詰めのジプニー(現地の乗合タクシー)で5時間かけて調査へ出かけたり、シャワーのかわりにバケツで水を浴びたりと初めての経験ばかりでした。環境に慣れず、体調を崩したことも…。ただ、助けてくださった現地の方も多くて、温かみを感じました。マレーシアでは、研究室の先生に同行させていただき魚類相のダイビング調査等を行いました。イギリスでは、世界トップクラスの博物館であるロンドン自然史博物館の研究室に所属し、最先端の研究に触れました。特に、留学の目的の一つだった専門としているカレイ目の貴重な標本の調査を行うことができたのは嬉しかったです。これらの結果をもとに、新種論文の記載を進めたいと思っています。

このように、留学中は思う存分調査・研究を行い、英語と共に専門の知識を得ることができました。しかしそれと同等に、他国の文化や慣習に触れたり、様々なバックグラウンドを持つ人々と出会ったことも、私にとって大きな財産となりました。海外では、貧困や宗教、移民、マイノリティ等の複雑な問題がいつも身近にありました。そして、そのような複雑さを受け入れる人々の姿や社会のあり方を目にしました。途上国と先進国の異なった地域を訪れたので、学ぶことが多かったですね。一方で、改めて実感した日本の良さもあります。例えば「環境」に対する考え方です。日本の道路は綺麗と言われますが、そのことに本当の意味で気づけたのは留学を終えてからでした。当たり前だと思っていた常識は、世界の常識ではないのだと理解できたのも、留学を経験したからこそだと思います。

海外では大変なこともありましたが、すべてが自身の糧になっているので、留学して良かったと心から感じます。もし迷っている方がいたらぜひ挑戦してほしいです。これまで気づけなかったことに気づけるようになれば視野がぐっと広がりますし、何より、本当に楽しいですから。



地元の漁船に同乗するため準備を行う岡本さん(フィリピンにて)

◎課外活動実績(平成31年4月~令和元年9月)

※()内に学部および学年を省略して掲載

- ラグビー部 ・第57回木元杯九州セブンズ ポールトーナメント準優勝
- 柔道部 ・第61回全国国立大学柔道優勝大会 7人制団体戦5位
- 馬術部 ・第15回九州地区全日本馬術三大大会 学生章典障害飛越競技優勝 株本雅樹(水3)
・第55回全日本学生女子選手権大会予選会 馬場馬術2位 山口明日香(医1)
- ハンドボール部 ・第28回九州学生ハンドボールリーグ春季大会 男子2部優勝 1部リーグ昇格
- 水泳部
 - ・第5回九州学生春季公認記録会
 - 女子 50mバタフライ1位 池田芽生(教1)/100m自由形1位 荻田早希(教3)
 - 200mフリーリレー1位 池田芽生(教1)、若松来夢(工2)、荻田早希(教3)、和田実央理(獣2)
 - 男子 200mフリーリレー3位 山下茂(理3)、平井樂(工1)、米田一貴(工2)、東遼大(水3)
 - ・第1回九州学生夏季公認記録会
 - 女子 50mバタフライ1位 池田芽生(教1)/50mバタフライ2位 北住優佳(教1)
 - 50m自由形2位 荻田早希(教3)/400mメドレーリレー1位(荻田・若松・池田・和田)
 - 200mフリーリレー1位(和田・若松・北住・荻田)/400mフリーリレー2位(荻田・若松・池田・和田)
 - ・第66回九州地区国立大学選手権水泳競技大会
 - 男子 200m平泳ぎ2位 平井樂(工1)/400m自由形3位 白石雄樹(理3)
 - 400mメドレーリレー第3位 土井康輔(教4)、平井樂(工1)、白石雄樹(理3)、東遼大(水3)
 - 女子 団体総合2位 **全国国立大学選手権団体権獲得**
 - 50m自由形1位・100m自由形3位 荻田早希(教3)/50m自由形3位 和田実央理(獣2)
 - 100mバタフライ2位・400m個人メドレー2位 池田芽生(教1)/200mバタフライ3位 北住優佳(教1)
 - 200mフリーリレー2位(池田・北住・和田・荻田)/400mフリーリレー3位(和田・北住・若松・荻田)
 - 400mメドレーリレー3位(荻田・若松・池田・和田)
 - ・第79回九州学生選手権水泳競技大会
 - 女子 団体総合4位 **日本学生選手権団体権獲得**
 - 50m自由形2位 荻田早希(教3)/200mバタフライ3位 北住優佳(教1)
 - 100mバタフライ3位・400m個人メドレー2位 池田芽生(教1) **日本学生選手権出場権獲得**
 - ・第74回国民体育大会水泳競技広島県予選会 男子 50mバタフライ1位 土井康輔(教4)
 - ・鹿児島県選手権水泳競技大会 女子 50m自由形1位 荻田早希(教3) **茨城国体出場権獲得**
 - ・第66回全国国立大学選手権水泳競技大会
 - 男子 200m自由形7位 白石雄樹(理3)
 - 女子 団体総合8位/50m自由形4位・100m自由形7位 荻田早希(教3)
 - 50m自由形8位 和田実央理(獣2)/100mバタフライ7位 池田芽生(教1)
 - 200mフリーリレー4位(池田・北住・和田・荻田)
- 医学部ゴルフ部
 - ・第58回九州・山口医科学生体育大会
 - 男子 団体優勝 大坪忠由(医:医3・個人準優勝)、西久保省吾(医:医3・個人4位)、徳田祐也(医:医3・個人7位)、橋本義直(医:医6・個人8位)
 - 女子 個人3位 前田陽香(医:医6)
 - ・第71回西日本医科学生総合体育大会 男子 団体優勝 大坪忠由(医:医3・個人準優勝)、徳田祐也(医:医3・個人6位)
- 医学部軟式野球部
 - ・第58回九州・山口医科学生体育大会 女子個人戦優勝 白石明夏(医:医4)・浅野茉莉香(医:医5)ペア
 - ・第71回西日本医科学生総合体育大会 男子個人戦ベスト8 宮原和暉(医:医2)・前野拓郎(医:医5年)ペア
 - ・第6回西日本メディカル学生ソフトテニス大会 女子 団体戦準優勝
 - 個人戦ベスト4 内丸楓葉(医:医1)、澤口友香(医:医2)/個人戦ベスト8 西俣香歩(医:医2)、時川舞(医:医2)
- 医学部・歯学部合気道部 ・第22回医療系学生合気道体育大会
 - 個人の部 敢闘賞(3位) 三ヶ島停平(医:医4)/団体の部 優秀演武賞(2位)
- 歯学部男子バレーボール部 ・第51回全日本歯科学生総合体育大会 3位
- 歯学部女子バレーボール部 ・第51回全日本歯科学生総合体育大会 優勝
- 歯学部サッカー部 ・第51回全日本歯科学生総合体育大会 3位
- 歯学部フットサル部 ・第51回全日本歯科学生総合体育大会 3位
- 歯学部卓球部
 - ・西日本歯科学生卓球大会
 - Aリーグ準優勝 来田光司(1)、奥康伸(2)、林理大(4)/Bリーグ準優勝 宇都宮黎(4)、山崎司(1)、園田賢史(6)
 - ・第51回全日本歯科学生総合体育大会 6位
 - 個人戦シングルス準優勝 来田光司(1)、3位 奥康伸(2)/個人戦ダブルス優勝 来田光司(1)・奥康伸(2)
 - 団体戦ベスト8 来田光司(1)、山崎司(1)、奥康伸(2)、青山佳仁(2)、糸田川朔徳(3)、宇都宮黎(4)、林理大(4)
- 吹奏楽団 ・第64回鹿児島県吹奏楽コンクール 大学の部 銀賞
・第64回九州吹奏楽コンクール 大学の部 金賞 **9年ぶり金賞受賞**
- カバディ同好会 ・JOCジュニアオリンピックカップ大会 第4回カバディチャレンジカップ 3位
- 百人一首同好会
 - ・第38回鹿児島県かるた選手権大会 個人戦3段以上の部優勝 加治さやか(医2)/2段の部優勝 登尾愛梨(医1)
 - ・第51回全国女流選手権大会 個人戦B級の部ベスト4 加治さやか(医2)、冷水美紅(法2)、吉浦日向子(法2)
 - ・第37回全国競技かるた宮崎大会 個人戦B級の部優勝 加治さやか(医2)、3位 冷水美紅(法2)/個人戦C級の部3位 奥村渚(工2)
 - ・第26回全日本大学かるた選手権大会 個人戦1回生の部3位 登尾愛梨(医1)/2回生の部ベスト4 冷水美紅(法2)

INFORMATION

本学のホームページでは様々な情報を発信しています。「ニュース」では学生や教職員の活躍を、「イベントカレンダー」では本学の行事等をご覧いただけます。広報誌「鹿大ジャーナル」や本紙「鹿大だより」のバックナンバーも閲覧できます。



最新の就職状況は就職支援センターHPでご覧いただけます。卒業者の就職状況、学部・研究科別の就職先一覧等のデータの他、学内で開催されるセミナー・ガイダンス、企業説明会等の情報も多数掲載しています。ぜひご覧ください。



鹿大 就職支援センター 検索

<https://www.kagoshima-u.ac.jp/>

<https://www.kagoshima-u.ac.jp/career/>

※本誌の送付にあたっては、学生が学務Webシステムに登録している10月25日現在の住所データを利用しています。住所変更時や送り先の変更をご希望の場合は、学生に変更手続きを行うようご連絡ください。(住所を含む学生情報の変更は、学生本人のみ行うことができます)